

大里小だより

11月号

令和3年11月15日

ここ数日間、新規感染者数がゼロが続いています。

学校は変わらず感染防止対策をきちんと続けていますが、私たちの心の中からピリピリ感は消え、穏やかな日々です。9月は子どもたちにしかめっ面をしていたのかな。

差別をなくす強化月間（11/11～12/10） 中学校区の取組

豊里中学校区人権フェスティバル（11/8）を、感染症対策の為、テレビ会議システムで各小中学校を結んで行いました。6年生の保護者、地域の方にもご視聴参加していただきました。ありがとうございました。各小学校の6年生・中学校2年生が、事前に行った「反差別人権研究所みえ」の松村さんとの出会い学習を通して、本当の自分でいられる仲間づくりをしていきたいと、感じたことや考えたことを発表してくれました。また、子どもたちの発表に応える形で、再び松村さんにお話もしていただきました。今後、子どもたちが思いを形にしようと行動したことを、12/8の豊里中学校区人権フォーラムで交流し合います。そして、来年4月からは、豊里中学校で力を結集してほしいと思います。



保護者や地域のみなさま、感染症のリスクが低ければ、来年度は豊里中学校体育館に集まって豊里中学校区人権フェスティバルを開催します。子どもたちの発表や講演会、人権啓発の掲示等をする予定ですので、ぜひご参加ください。

本校では、今週末の11/19に人権学習交流会を行います。各学年が今年の人権学習を発表します。「子どもたちが心から伝えたいのは、どのようなメッセージなのか」楽しみです。ぜひ、メッセージを受け止めていただき、ご家庭でお子さんにお話をしてやってください。それで、子どもたちはとても満足することでしょう。（※各学年発表の詳細については、別に学校より案内の便りが出ます。）

運動会（10/28） ご参観ありがとうございました

みなさまのご理解とご協力により、運動会を無事実施することができました。

「勝利をめざし、燃やせ大里魂」

これは、児童会が決めた運動会のスローガン。縦割り班の1～6班を白組、7～12班を赤組として総合得点を競い合いましたので、「勝利をめざし」とあります。感染症対策のため、縦割り班活動をするのは4月の遠足以来でした。異年齢集団で学んでほしいことがあります。感染症が落ち着いている今、後期児童会役員には、縦割り班遊びなど企画してほしいものです。



話をスローガンに戻します。開会式の校長挨拶で、「大里魂」について

「魂とは、心の真ん中にしっかりとあるもの。大里魂とは、学年も運動が得意かどうかも、みんなそれぞれ違うけれど、みんな仲間、一緒に楽しもうという心だと思う。それは、校長先生が以前、地区運動会で集まった地域の人の中に大里魂を見た気がするからなんだよ。」

と話をしました。もう古い話で、お笑いコンビ「とんねるず」の石橋さんが野球を楽しむ番組で「帝京魂」と何度も叫んでいましたが、大里で共有する大事なものを「大里魂」と言って、誇りにできるといいですね。

全学年で 防災学習 (11/9)

ゲストティーチャーを迎え、県から配付されている「防災ノート」をもとに、1・2・3・4・6年生は学年に応じて地震や津波の危険について学びました。5年生は、起震車に乗って震度6強までの揺れの体験をし、県の担当の人から話を聞いて学びました。

「学校にいるときにどんな危険があるか、どうしたらいいか」は毎年避難訓練の際に学習します。また、学校にいるときに津波の危険性は低いです。しかし、地震はいつ起きるかわかりません。子どもだけの登下校の時だったら、家で留守番しているときだったら、家族で海岸近くに遊びに行っているときだったら、……。そう考えると、学習を積み上げ、いざというときの行動の引き出しを増やしていくことは、とても大事なことです。



※12/4は大里地区の自主防災訓練です。

実行委員のみなさま、各自治会からご参加いただきみなさま、ご苦労さまです。